



ニッポン ドクター和の 臨終図巻

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東大第一病棟、大阪第二病棟、京大第二病棟、兵庫医科大学、長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

「映画を愛し、日本映画界を第一線でリードし続けた偉大な方でした」——館ひろしさん。

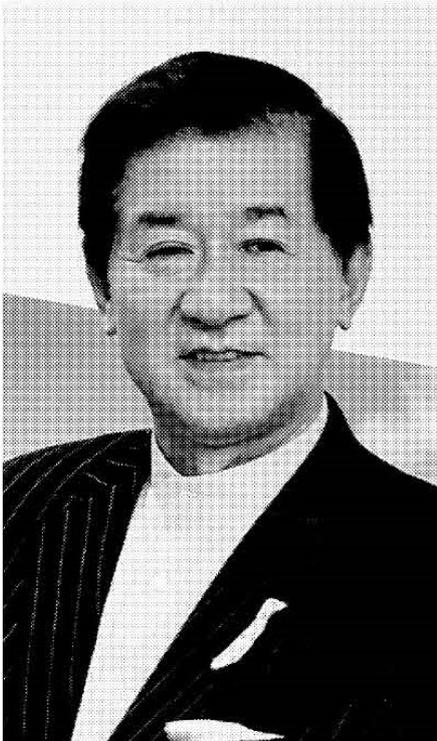
「あまりにも急です。急過ぎます。言葉がありません。貴方がこの世に居ないなんて」——西田敏行さん。

多くの俳優や映画人の悲しみや追悼の言葉を拝見するたび、この方がいかに日本の映画界を牽引(けんいん)されていたかが、よくわかります。

東映グループの会長で俳優としても活躍された岡田裕介さんが、11月18日に都内の病院で亡くなりました。享年71。死因は、急性大動脈解離との発表です。

大動脈とは文字通り、心臓から全身に血液を送り出す動脈の本幹です。直径15〜20センチほどの人体の中で最も太い血管で、脳や腎臓、肝臓などの重要な臓器

182 東映グループ会長 岡田裕介さん



この大動脈の壁の内膜と外膜に亀裂が起き血管壁に血液が流れこむ状態を大動脈解離といいます。突然に解離が起こることが、急性動脈解離、徐々に解離が進行する場合は慢性動脈解離と呼ばれます。特に、上行大動脈に解離がお

きるスタンフォードA型と呼ばれる急性大動脈解離は、何の予兆もないままある日突然、血管に亀裂が生じ、胸や背中に、今まで経験したことがないような激痛が走ります。緊急手術をするしか手立てがないのですが、救急車で病院に到着する前に6割以上の人が死亡するというデータもある重篤な病態です。もしもそんな痛みを感じたら迷うことなく救急車を呼び一秒でも早く診断・治療を受けて下さい。

大動脈解離の原因はまだまだ不明な点もありますが、高血圧など動脈硬化がリスクです。発症

年齢のピークは70代。女性よりも男性に多く、また、夏場よりも冬場に発症しやすいことがわかっています。さらに個人的な臨床経験から申し上げるならば、エネルギーシフトでバリバリ仕事をこなすオーナー社長タイプがこの病で突然死をされているように思います。

岡田会長も、亡くなる直前まで仕事をされており、来年公開予定の吉永小百合さんの主演映画『いのちの停車場』の撮影現場をたびたび訪れて指揮を執っていたそうです。岡田さんはこれまで、吉永さんの主演映画を数多くプロデュースされており、自他ともに認める「サユリスト」でした。

22日に行われた密葬では、吉永さんは憔悴(しょうすい)した様子であるものの涙は見せず、話しかけるように遺影を見つめておられたとのこと。映画に命を懸けた人が空から見守る中、素晴らしい作品が完成することでしょう。

最後まで主演映画見守った「サユリスト」